

市長から

市長に就任してから1年が過ぎました。マニフェストにも掲げたいいくつかの点について総括をします。

まず、「医療・福祉」の面については、新市民病院の建設に向けて、外部のアドバイザーを招いてのプロジェクトチームによる検討を進めているところですが、「教育」については、市独自の学力調査の実施、学校教育予算の増額、図書館の建設に向けた具体的研究を進めているところですが、「子育て」については、民間保育園の誘致に加え、地域全体で子育てを進めるための体制づくりを進めています。「環境」については、区内処理に向けて今後も引き続きごみの減量30%の取り組みを進めています。

「子育て」については、民間保育園の誘致に加え、地域全体で子育てを進めるための体制づくりを進めています。「環境」については、区内処理に向けて今後も引き続きごみの減量30%の取り組みを進めています。

「子育て」については、民間保育園の誘致に加え、地域全体で子育てを進めるための体制づくりを進めています。「環境」については、区内処理に向けて今後も引き続きごみの減量30%の取り組みを進めています。

を進めています。「錦海塩田」跡地の今後については、有償無償にかかわらず跡地の取得と公的管理に向けて、現在破産管財人および抵当権者との交渉を重ね、調整を行っています。「行政改革」では、市民活動を支援する仕組みとして、市民活動応援補助金を始めました。持続的な市民活動の展開に向けて基礎はできたと思っています。

財政状況は順調に回復しており、今後も財政見直しをしっかりと見据えながら、必要な施策を講じていきたいと考えています。本年度も中期財政見直しを立てるために、現在関係課に対するヒアリングを実施しています。合併後の優遇措置がなくなった時点までを見通すため、事業の実施内容を吟味

抽出校の結果は、平均正答率については、小学校では国語A・B、算数A・Bのすべてで岡山県平均を上回り、算数Aを除いて全国平均も上回っています。中学校では、国語A・B、数学A・Bのうち、国語A・Bは岡山県平均を上回っていますが、全国平均を上回ったのが国語Bのみという結果になっています。

市独自の「学力調査」の結果は、到達度については、小学校4年生・5年生、中学校1年生・2年生の国語と算数・数学のすべてで目標値を上回っています。基礎的な学習内容については定着が図られています。応用的・発展的思考を苦手とする児童生徒がやや多く、基礎的問題に比べて無回答率も高くなっています。今後は、各学校で「学力・学習状況改善プラン」を作成して授業改善を図るとともに、一人一人の児童生徒に応じた指導の工夫を図っていきます。

抽出校の結果は、平均正答率については、小学校では国語A・B、算数A・Bのすべてで岡山県平均を上回り、算数Aを除いて全国平均も上回っています。中学校では、国語A・B、数学A・Bのうち、国語A・Bは岡山県平均を上回っていますが、全国平均を上回ったのが国語Bのみという結果になっています。

抽出校の結果は、平均正答率については、小学校では国語A・B、算数A・Bのすべてで岡山県平均を上回り、算数Aを除いて全国平均も上回っています。中学校では、国語A・B、数学A・Bのうち、国語A・Bは岡山県平均を上回っていますが、全国平均を上回ったのが国語Bのみという結果になっています。

抽出校の結果は、平均正答率については、小学校では国語A・B、算数A・Bのすべてで岡山県平均を上回り、算数Aを除いて全国平均も上回っています。中学校では、国語A・B、数学A・Bのうち、国語A・Bは岡山県平均を上回っていますが、全国平均を上回ったのが国語Bのみという結果になっています。

抽出校の結果は、平均正答率については、小学校では国語A・B、算数A・Bのすべてで岡山県平均を上回り、算数Aを除いて全国平均も上回っています。中学校では、国語A・B、数学A・Bのうち、国語A・Bは岡山県平均を上回っていますが、全国平均を上回ったのが国語Bのみという結果になっています。

抽出校の結果は、平均正答率については、小学校では国語A・B、算数A・Bのすべてで岡山県平均を上回り、算数Aを除いて全国平均も上回っています。中学校では、国語A・B、数学A・Bのうち、国語A・Bは岡山県平均を上回っていますが、全国平均を上回ったのが国語Bのみという結果になっています。

抽出校の結果は、平均正答率については、小学校では国語A・B、算数A・Bのすべてで岡山県平均を上回り、算数Aを除いて全国平均も上回っています。中学校では、国語A・B、数学A・Bのうち、国語A・Bは岡山県平均を上回っていますが、全国平均を上回ったのが国語Bのみという結果になっています。

抽出校の結果は、平均正答率については、小学校では国語A・B、算数A・Bのすべてで岡山県平均を上回り、算数Aを除いて全国平均も上回っています。中学校では、国語A・B、数学A・Bのうち、国語A・Bは岡山県平均を上回っていますが、全国平均を上回ったのが国語Bのみという結果になっています。

し、来年度の予算要求までの検討事項を協議しています。これらの作業を通して、将来にわたって市民が安心して生活できるような市役所の構造改革を進め、市民サービスの維持・向上と行政のスリム化などを図っていきたくと考えています。

環境にやさしい低炭素社会づくりを推進するために、自転車の利用を快適かつ積極的に取り入れたライフスタイルによるまちづくりを目指した事業に取り組めます。この事業は、総務省からの受託事業であり、「瀬戸内市バイクピズ」の名称により、実現に向けた有効な方策を取りまとめるための調査事業を今年度で行います。

緑の分権改革調査事業

環境にやさしい低炭素社会づくりを推進するために、自転車の利用を快適かつ積極的に取り入れたライフスタイルによるまちづくりを目指した事業に取り組めます。この事業は、総務省からの受託事業であり、「瀬戸内市バイクピズ」の名称により、実現に向けた有効な方策を取りまとめるための調査事業を今年度で行います。

クリーンセンターかもめの改修に向けた調査を実施

今後3年間でクリーンセンターかもめの運転時間延長に向けた改修を行うための調査を10月から行う予定です。今後1年間をかけて周辺地区の大気質、騒音振動、交通量、悪臭の調査を行います。

地域生活支援事業の負担を軽減

本市では、障害がある人も地域で自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、地域生活支援事業を行っています。国の障害者自立支援法の改正によって、4月から障害福祉サービスの市民税非課税である低所得者が利用する場合には、負担が無料化されまし

た。同様に地域生活支援事業を利用する際の低所得者の負担も、7月1日から無料化しました。今後とも障害のある人が、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に努めていきます。

瀬戸内ブランド構築事業

本事業は、本市の農水産物やそれらを活用した加工品をブランド化するために、景観、自然、歴史、風土、文化、素材などの地域イメージと関連させながら、他地域にはない付加価値の高い商品の開発を行うものです。また、開発された商品と本市の魅力や県内のみならず全国の消費者へPRし、需要の拡大と市に対する興味や来訪者の増加を図ることで、農水産業などの活性化や市のイ

瀬戸内市の花、木、鳥、海産物を決定

瀬戸内市では、市花・市木・市鳥等選定投票を実施し、1カ月間にわたって市民の皆さんにそれぞれの候補へ投票を行っていただきました。

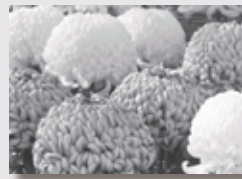
その結果、7月30日に開催された市花・市木・市鳥等選定委員会において、投票総数1,572票の中から得票数が一番多いものを瀬戸内市の市花・市木・市鳥・市の海産物として決定しました。

市のシンボルとして、地域でのイベントや市外へのPRの際にぜひご活用ください。

市の花 きく

得票数 1,243票

鎌倉時代、備前福岡一文字派の刀工が製作した上質の太刀に後鳥羽上皇が菊紋を入れたという「菊一文字」につながります。市民による菊花展も盛んに開催されています。



市の木 オリーブ

得票数 661票

木そのものがさわやかな地中海を連想させ、「日本のエーゲ海」を広く国内に印象付けています。また、市の温暖な気候と太陽いっぱい明るい様子を想像することができます。



市の鳥 めじろ

得票数 676票

姿が大変愛らしく、四季を通じてよく見かけることから親しみを持てます。また、その姿が住む人の心をなごませることから、安らぎのある市をイメージできます。



市の海産物 かき

得票数 956票

海のミルクといわれ、高い栄養価を持ち、市の特産品として関西にも知られています。また、カキ棚のある風景は朝日100選にも選ばれており、県外へのアピール力があります。